

むかわ町 発災後1年の歩み

〔平成30(2018)年〕

9月6日・3時7分、胆振地方中東部でマグニチュード6.7の

地震が発生(震度6強)

- ・道内全域(約295万戸)が停電
- ・3時40分、むかわ町災害対策本部を設置
- ・不測の事態に備え沿岸地区(汐見・晴海)に避難を呼びかけ
- ・全避難所開設、町内巡回を開始
- ・非常用発電機による電力復旧(四季の館)
- ・中心市街地を含めた多数の家屋が倒壊、消防へ救助要請
- ・各家屋等の灯油タンクが転倒、復旧作業を開始
- ・自治会、自主防災組織による安否確認を開始
- ・陸上自衛隊リエゾンオフィサー(LO)が到着。以降、国土交通省TEC-FORCEをはじめ様々な関係機関等から応援を受ける
- ・穂別地区3か所での土砂災害を確認(オビラルカ、富内、栄)
- ・6時11分、地震発生(震度5弱 マグニチュード5.4)
- ・災害救助法適用
- ・町内小中学校の臨時休校が決定
- ・町営バスの運行休止を決定

9月9日・自衛隊による入浴支援が開始される

- ・むかわ町フェイスブックによる災害関連の情報発信を開始
- ・11時15分、二宮地区2世帯に避難勧告
- ・17時05分、二宮地区2世帯に避難勧告から避難指示に変更(9月25日に解除)
- ・18時50分、穂別キウス地区2世帯に避難勧告(9月16日に解除)

9月10日・穂別地区での断水が一部解消

- ・21時00分、胆振東部地震による犠牲者が全道で41名(厚真町36名、札幌市1名、苫小牧市2名、むかわ町1名、新ひだか町1名)に(北海道発表)

9月11日・鶴川地区と穂別地区で再度停電発生、順次回復

- ・むかわ町災害ボランティアセンター活動開始に向けた情報発信、支援ニーズ調査を開始
- ・9月12日・り災証明書交付申請の受付を開始
- ・水道が全面復旧
- ・鶴川高等学校が授業を再開

9月13日・6時15分、福祉避難所が

- 閉鎖
- ・避難所8カ所、避難者267人
- ・むかわ町災害ボランティアセンター開設、受入開始



ボランティアによる炊き出し(9月17日)

・JR日高線(苫小牧-鶴川間)が被災し不通

- ・約1千戸の断水が発生
- ・給水車等による給水支援開始
- ・炊き出し等による食事の提供開始
- ・支援物資の受入・提供開始
- ・災害ごみの受け入れを開始
- ・「デイサービスたんぼ」が福祉避難所として開設される

17時30分、気象庁が「平成30年北海道胆振東部地震」と命名

- ・18時25分、穂別栄地区3世帯に避難勧告(9月12日に解除)
- ・避難所13カ所、避難者1,033人
- ・9月7日・穂別市街、豊田、和泉、栄、安住、富内の各地区の一部で断水発生
- ・自衛隊に炊き出しと風呂の提供を要請
- ・副町長が穂別地区避難所の訪問を実施
- ・12時30分、穂別共和・明穂地区12世帯に避難勧告(9月22日に解除)
- ・町長が鶴川地区避難所の訪問を実施
- ・国によるプッシュ型支援の物資が到着
- ・安住、富内市街地方面へ移動発電車による給電開始
- ・9月8日・穂別地区の一部で電力復旧
- ・自衛隊による炊き出しが開始される

9月14日・り災証明書交付に向けた

- ・家屋調査を開始
- ・9月17日・穂別地区で自衛隊による給水が終了

9月18日・町内小中学校、穂別高

- 校、認定こども園が再開

9月19日・町営バスの運行が再開

- ・臨時FM局「むかわさ いがいエフエム」が開局

9月20日・被災者生活再建支援法適用

- ・鶴川地区での自衛隊による給水が終了
- ・避難所4カ所、避難者170人

9月21日・穂別地区での自衛隊による給食支援が終了

9月22日・鶴川地区で「応急仮設住宅説明会」を開催

9月23日・穂別地区で「応急仮設住宅説明会」を開催

- ・「生活再建ハンドブック」を発行
- ・9月25日・応急仮設住宅建設開始、入居受付開始
- ・り災証明書の交付開始
- ・基礎支援金、加算支援金の受付開始

- ・「生活再建ハンドブック」を発行



生活支援ハンドブックの発行(9月25日)



小此木防災担当大臣の視察(9月19日)
〔北海道新聞社提供〕

- 9時45分、二宮地区2世帯の避難指示を解除、これにより町内全ての避難指示・勧告が解消
- 9月26日・むかわ町出身のノーベル化学賞受賞者である北海道大学鈴木章名誉教授から町内小中高校に激励の色紙が贈呈
- 9月27日・北海道大学総合博物館の小林快次准教授(当時)が来町。国内最大の恐竜全身骨格化石「むかわ竜」が奇跡的に無傷であったことを確認、復興のシンボルへ活用
- 9月28日・「激甚災害」指定の閣議決定
- 9月29日・家屋調査の2次調査が開始される
- 自衛隊による入浴支援が終了
- 9月30日・穂別博物館が再開
- 臨時FM局「むかわさいがいエフエム」が終了
- 災害ごみの受け入れを終了
- 10月2日・給食センターが給食提供を再開
- 10月6日・避難所1カ所、避難者66人
- むかわ町復興推進プロジェクトチームを設置
- 10月12日・鶴川地区での自衛隊による給食支援が終了
- 10月13日・自衛隊給食支援終了セレモニーを開催
- 10月15日・被災家屋の公費解体・撤去申請受付開始
- 11月1日・応急仮設住宅入居開始(一期Ⅱ大原仮設団地)



応急仮設住宅への入居準備(11月1日)(北海道新聞社提供)

- 2月21日・21時22分、地震発生(震度5強 マグニチュード5.8)
- 2月28日・仮設店舗完成
- 3月1日・仮設店舗入居開始
- 3月4日・復興計画策定に向けた復興基本方針を決定
- 3月6日・町長が仮設住宅全戸訪問を実施
- 3月17日・むかわ町復興支援訪問プロジェクトによる全戸訪問活動を開始
- 3月21日・被災し休館していた穂別地球体験館さよならイベントを実施
- 3月28日・鶴川地区で災害対策検証会を開催
- 3月31日・穂別地球体験館を閉館
- 4月1日・むかわ町災害ボランティアセンターを閉所
- 4月3日・穂別図書館が再開
- 4月25日・穂別地区で災害対策検証会を開催
- 5月8日・鈴木直道知事が視察来町
- 5月9日・穂別地区で仮設住宅等町長懇談会を開催
- 5月10日・鶴川地区で仮設住宅等町長懇談会を開催
- 6月1日・東京2020オリンピック聖火リレー北海道ルートに



応急仮設住宅への町長訪問(2月21日)

- 25戸)
- 11月3日・四季の館内の各施設が再開(四季の湯、ホテル四季の風、まなびランド図書室等)
- 復興イベント「鶴川ししゃもまつり」が開催される
- 11月11日・復興イベント「むかわ竜完全版大公開」が開催される
- 「四季の館」避難所を閉鎖
- 11月13日・「報徳館」避難所を再設置
- 11月15日・鶴川高校の生徒約50人が被災した商店街を勇気づける「ウォールペイント」を実施
- 11月19日・被災し不通となっていたJR日高線(苫小牧ー鶴川間)の再開セレモニーを実施
- 11月29日・鶴川高校仮設生徒寮の建設を開始
- 11月30日・被災家屋の公費解体・撤去を開始
- 12月3日・義援金、被災家屋応急修理補助金の受付開始
- 12月5日・応急仮設住宅入居開始(二期Ⅱ美幸仮設団地4戸)
- り災証明書交付申請の受付を終了
- 12月21日・町内すべての避難所を閉鎖
- 12月27日・応急仮設住宅入居開始(三期Ⅱ美幸仮設団地6戸)
- 12月27日・むかわ町復興推進プロジェクトチーム事務を統括する「むかわ町復興推進本部」を立ち上げる
- 〔平成31・令和元(2019)年〕
- 1月31日・応急仮設住宅として鶴川高校仮設生徒寮が完成
- むかわ町災害対策本部を廃止
- 2月1日・り災証明書交付申請の第2次受付を開始

- 選出される
- 6月15日・洪水と地震を想定した道内最大規模の「鶴川・沙流川合同総合水防演習」を実施
- 6月23日・歌手の大黒摩季さんらによる復興支援コンサート「道産子SOULに火を付ける」が開催される
- 6月29日・復興イベント「むかわ竜完全版大公開」が開催される
- 6月30日・被災家屋の解体実施を完了
- 7月13日・国立科学博物館(東京都上野)で恐竜博2019が開幕、復興のシンボルである「むかわ竜」を全国にお披露目(特別展過去最高の約679千人が来場)
- 7月31日・復興の道しるべである「むかわ町復興計画」を策定
- 9月6日・むかわ町防災訓練及び防災講演会を開催
- 北海道大学総合博物館の小林快次教授が国内最大の恐竜全身骨格化石「むかわ竜」の学名「カムイサウルス・ジャポニクス」を発表



「むかわ町復興計画」を策定(7月31日)



むかわ町復興計画町民説明会(8月21日)